

国語国文学科

Department of Japanese Language and Literature



	分野	題目	副題
1	古典	『とりかへばや』とジェンダー	
2	古典	『新古今和歌集』における秋について	
3	古典	芥川龍之介と古典文学	
4	古典	『花世の姫』研究	
5	古典	「吉備津の釜」登場人物孝	
6	古典	「蛇性の姪」を中心に考える異類と人間の違い	
7	古典	物語のきつね	『木幡狐』を中心に
8	古典	源氏物語における恋愛観について	
9	古典	同文的同話から見る『古事談』 『宇治拾遺物語』	
10	古典	妖術と忍術の比較	『児雷也豪傑譚』を中心に
11	古典	『かざしの姫君』	——「菊の精」について——
12	古典	『とはずがたり』探求	西行の影響を中心に
13	古典	蛇と龍	
14	古典	西鶴における動物考	『西鶴諸国はなし』を中心に
15	古典	『木幡狐』の研究	
16	古典	「モテる」男	光源氏・業平研究

	分野	題目	副題
17	古典	『蜻蛉日記』論	
18	古典	伏姫私考	
19	古典	『更級日記』の作者が夕顔や浮舟に憧れた理由	悲劇のヒロインとしての彼女たちの魅力とは
20	古典	六条御息所論	物の怪となった姫の心情
21	古典	光源氏と男性との贈答歌について	
22	古典	『雨月物語』における怪異描写の考察	
23	古典	『土佐日記』における表現技法について	
24	古典	『枕草子』の四季をめぐって	「春」「夏」「秋」「冬」の語を手がかりに
25	古典	『枕草子』からみる清少納言の美意識	－「なまめかし」「うつくし」「うるはし」の語を通して－
26	古典	『落窪物語』を読む	継母、北の方の側に立って
27	古典	『源氏物語』における藤壺	
28	古典	源氏物語論	源氏物語における紫の上の苦悩
29	古典	『源氏物語』における女性たちの嫉妬	
30	古典	『更級日記』にある「死」に関連した和歌について	－五つの死からわかる孝標女の人物像－
31	古典	『竹取物語』における人間模様	－五人の求婚者と帝を中心に－
32	近代	江戸川乱歩『屋根裏の散歩者』論	作品における犯罪者像について
33	近代	三島由紀夫『獅子』論	
34	近代	『バスタード』論	－愛と闇－
35	近代	太宰治『葉桜と魔笛』論	
36	近代	金井美恵子『兎』論	
37	近代	音楽と文学について	-BTSを鏡として見た日本文学の限界と可能性-

	分野	題目	副題
38	近代	太宰治『人間失格』論	
39	近代	近代文学と民俗学	
40	近代	新海誠論	『すずめの戸締まり』に至るまで
41	近代	野田秀樹『ザ・キャラクター』論	
42	近代	古屋兎丸『ライチ☆光クラブ』論	二人のファミファタル
43	近代	ヘルマン・ヘッセと日本	ヘッセ作品から見る生きづらさ
44	近代	樋口一葉『たけくらべ』論	集団が人に与える影響
45	近代	猫と人間	猫を通して考える文学作品と作家と今後について
46	近代	共感と恋愛小説	加藤千恵さんの人物、作品から読み解く恋愛小説の魅力
47	近代	江戸川乱歩『芋虫』論	
48	近代	太宰治『斜陽』論	
49	近代	坂口安吾『桜の森の満開の下』論	
50	近代	芥川龍之介の作品研究	『鼻』と『舞踏会』について
51	近代	美女と野獣、近代文学から見る内なる美しさ	
52	近代	登場人物の名付けについて	- 樋口一葉『たけくらべ』から -
53	近代	太宰治論	『人間失格』と『道化の華』
54	近代	柊キライ楽曲の物語	ポカロ曲と日本文学の関係性
55	近代	私小説から見る「私を語る」の本質	
56	近代	樋口一葉論	作品から見る女性観
57	近代	中原中也論	
58	近代	小川糸論	

	分野	題目	副題
59	近代	江國香織論	作品から紐解く恋愛観
60	近代	舞台化作品と原作の特質	
61	近代	『時をかける少女』論	時代を反映したメッセージの変容
62	近代	恋愛文学の醍醐味とは何か	
63	近代	樋口一葉論	作品の考察
64	近代	有島武郎『或る女』における女性像	
65	近代	近現代における女性の社会的地位の変化	女性文学者の進出から見るその歴史と課題
66	近代	川端康成論	作品に描かれた女性の美
67	近代	異界を読み解く	明治から昭和の三小説について
68	近代	中原中也の詩について	長谷川泰子題材の詩と息子文也題材の詩の比較
69	近代	夏目漱石『こゝろ』論	作者が描きたかった心とは何か
70	近代	宮沢賢治作品におけるほんとうの幸せ	
71	近代	『輪るピングドラム』論	
72	近代	谷崎潤一郎の女性観とその変遷	
73	近代	丸山薫論	同世代に活躍した詩人との比較
74	近代	芥川龍之介の晩年の作品について	人生観に着目して
75	近代	昔話の変遷	―挿絵と変化の必要性―
76	近代	梶井基次郎「桜の樹の下には」論	
77	近代	国木田独歩論	自然と人の在り方
78	近代	宮沢賢治論	
79	近代	小川洋子作『密やかな結晶』と『アンネの日記』の共通点を探る	

	分野	題目	副題
80	日本語	女性の言葉遣いについて	
81	日本語	創作物における魔法名・呪文名の語形成	—ロールプレイングゲーム「女神転生」を中心に—
82	日本語	日本語学習者の人称代名詞の使用と習得問題	接触場面会話コーパスの分析を中心に—
83	日本語	中央語におけるバ行・マ行動詞ウ音便の衰退	狂言台本を中心に
84	日本語	日本の歌詞における性差と言葉に関する考察	時代別のレコード大賞の歌詞に見る性差の分析を中心に
85	日本語	織田作之助作品の関西方言	
86	日本語	異字同訓の研究	—明治大正期雑誌における「つとめる」の意味と表記の結びつきを例として—
87	日本語	程度副詞について	各年代の書籍を比較して
88	日本語	「いたる」と「およぶ」	平安時代と鎌倉時代における意味用法
89	日本語	あいづちの男女差	ラジオパーソナリティのあいづちに着目して
90	日本語	令和における「かわいい」について	
91	日本語	女性の自称について	高橋留美子作品を中心に
92	日本語	「御免」の歴史的変遷	—謝罪表現としての使用に注目して—
93	日本語	オノマトペについて	
94	日本語	LINEでのやりとりに見られる配慮表現	「断り」談話の特徴
95	日本語	若者の敬語意識	アルバイト敬語を中心に
96	日本語	若者言葉における「〇〇る」	
97	日本語	食べ物に関するオノマトペ	